



科学技術・学術政策研究所の概要

2020年7月2日

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

NISTEPの役割

- 将来新たに発生する政策課題を予見し、自発的かつ掘り下げた調査研究を実施。
- 行政部局からの要請を踏まえ、機動的な調査研究を実施。
- 科学技術・学術政策研究の中核機関として、他の研究機関や研究者と連携して研究活動を展開し、基盤となる各種データを提供。

最近の動き

政府方針としてEBPM(Evidence-Based Policy Making)に基づき、政策形成でのエビデンス整備に貢献。

- | | |
|---------|---|
| 1988年7月 | 科学技術庁に科学技術政策研究所を設置(資源調査所改組)
(永田町合同庁舎(千代田区永田町)) |
| 2001年1月 | 文部科学省が発足(文部科学省の附属機関となる)
科学技術動向研究センター設置(第4調査研究グループ改組) |
| 2001年7月 | 郵政事業庁庁舎(千代田区霞が関)に移転 |
| 2004年1月 | 文部科学省ビル(千代田区丸の内)に移転 |
| 2006年4月 | 科学技術基盤調査研究室設置(情報分析課改組) |
| 2008年1月 | 中央合同庁舎第7号館東館(千代田区霞が関)に移転 |
| 2013年7月 | 科学技術・学術政策研究所へ改組 |
| 2016年4月 | 調査研究グループの再編(第3調査研究グループを第2調査研究グループへ)
科学技術予測センター設置(科学技術動向研究センター改組) |
| 2018年7月 | 創立30周年 |

組織概要

組織の性格

国の科学技術や学術の振興の政策立案プロセスの一翼を担うために設置された国家行政組織法に基づく文部科学省直轄の国立試験研究機関(1988年7月設置(資源調査所改組))。

予算

2020年度予算額：約8億円

組織

2020年度末定員：44名

所長 磯谷 桂介

総務研究官 角田 英之

上席フェロー 今井 寛
赤池 伸一

第1研究グループ 客員総括主任研究官 伊地知 寛博

科学技術の経済社会への効果等

第2研究グループ 総括主任研究官 富澤 宏之

科学技術の研究開発システム等

第1調査研究グループ 総括上席研究官 星野 利彦

科学技術人材、科学技術と社会の関係等

第2調査研究グループ 総括上席研究官 堀田 継匡

産学連携、大学ベンチャー、地域イノベーション

科学技術予測センター 科学技術予測センター長 横尾 淑子

科学技術予測及びスキニング

科学技術・学術基盤調査研究室 室長 伊神 正貫

科学技術及び学術振興の基盤的データ等

研究支援部門

・総務課 課長 郡司 良男

・企画課 課長 小野 真沙美

【顧問】

2020.7.1時点(敬称略)

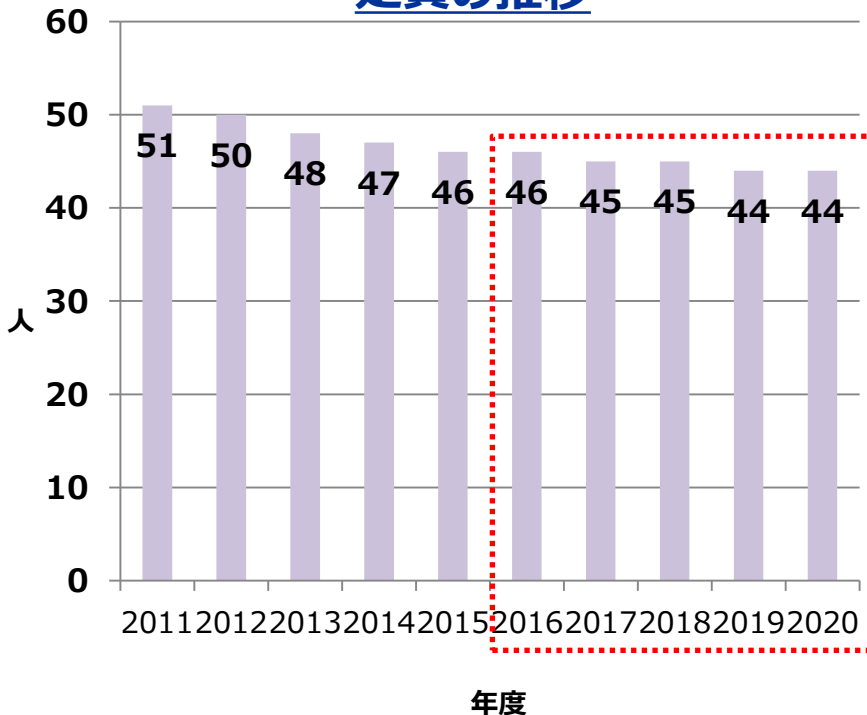
- ◆ 小林 喜光(株式会社 三菱ケミカルホールディングス 取締役会長)
- ◆ 里見 進(独立行政法人 日本学術振興会 理事長)
- ◆ 須藤 亮(株式会社 東芝 特別嘱託)
- ◆ 田中 明彦(国立大学法人 政策研究大学院大学 学長)
- ◆ 辻 篤子(中部大学 特任教授、科学ジャーナリスト)
- ◆ 向井 千秋(学校法人 東京理科大学 特任副学長)
- ◆ 室伏 きみ子(国立大学法人 お茶の水女子大学 学長)
- ◆ 矢野 誠(独立行政法人 経済産業研究所 理事長)

【アドバイザー】

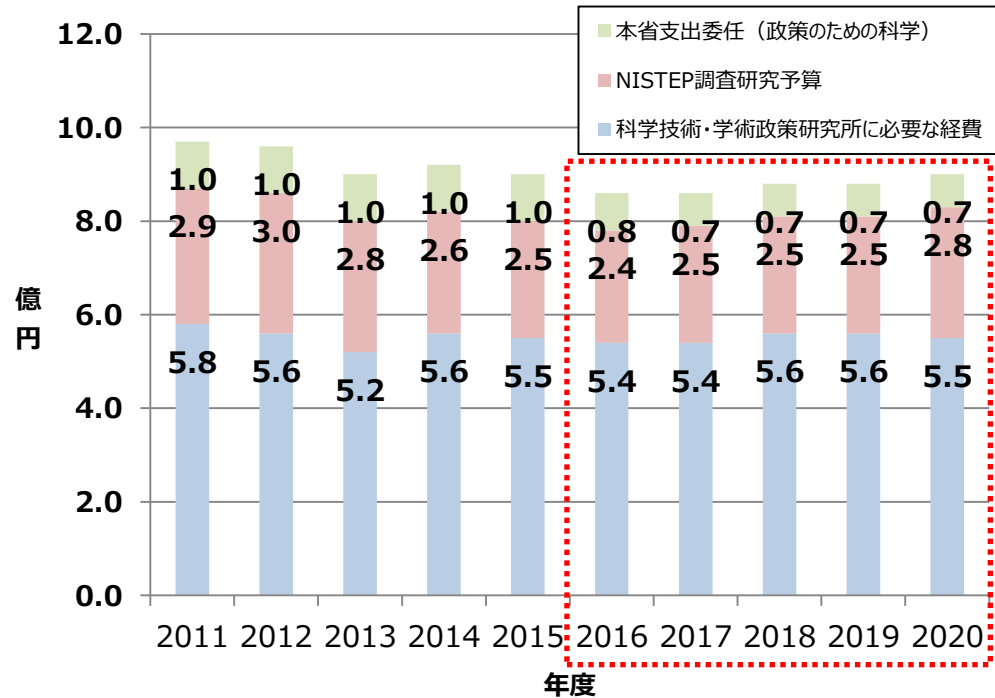
- ◆ Lennart Stenberg (Senior Advisor for International Cooperation and Analysis Operational Development Division, VINNOVA)

定員、予算の推移

定員の推移



予算の推移（本省支出委任分を含む）



NISTEPの研究員数等の推移

	年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020(4月)
特別研究員（人）		4	4	5	4	4	6	3	3	2	1
客員研究官（人）		118	131	108	101	100	84	89	84	67	52
国際客員研究官（人）		5	6	5	5	4	2	8	6	3	2

中期計画(2016～2020年度)

1. 調査研究の目指すべき方向性

科学計量学的 調査研究

- 我が国及び世界の科学技術活動を客観的・定量的なデータで体系的に分析
- 論文分析等により大学システム等の構造を理解するとともに、研究開発費や研究者の分布等の構造を調査研究
- 分析の基盤となる大学や公的研究機関の辞書等の維持・構築

予測に関する 調査研究

- ホライズン・スキャニングによる科学技術予測
- オープンサイエンスの動向把握により科学技術に対する影響や推進方策を調査研究
- 予測活動の効果的、効率的な推進のための専門家ネットワークの維持・運営

科学技術イノベーション 政策の企画・立案 に資する調査研究

- 民間企業の研究開発・イノベーション活動の実態や動向を分析
- データ・情報基盤の着実な整備・公開
- NISTEP内のグループ等の横断的連携・協力により、科学技術イノベーション、研究資金、成果等のデータ・情報を総合的に分析

科学技術システムに 関する調査研究

- 博士人材のデータベースの整備・活用等を推進するとともに、博士人材追跡調査を実施
- 科学技術への関心や信頼などの国民の意識を把握
- 大学発ベンチャー、産学連携等に関する政策研究、地域科学技術指標の検討等に関する調査研究を実施。

科学技術基本計画 のフォローアップに 資する調査研究

- 第5期科学技術基本計画の効果や影響に関する調査研究
- 科学技術イノベーションの状況を俯瞰するため、我が国の有識者や研究者を対象とした意識調査を継続して実施

2. 研究所の運営の在り方

- 職員のワークライフバランスへ配慮、ライフステージに応じた支援等による人材の確保と育成
- 文部科学省・大学・研究機関等の関係機関との人的交流の活性化と関係府省や政府系シンクタンク等との連携・協働の強化
- 情報通信技術のさらなる活用による調査研究手法の高度化の推進

主な研究調査の一覧

■ 科学技術指標【毎年】

科学技術活動を「研究開発費」、「研究開発人材」、「高等教育と科学技術人材」、「研究開発のアウトプット」、「科学技術とイノベーション」の5つのカテゴリーに分類し、約180の指標で日本及び各国の状況を示す。

■ 科学研究のベンチマーキング【隔年】

科学研究活動の主な成果公表媒体である論文に着目し、個別指標(①論文数、②Top10%・Top1%補正論文数)と、複合指標(③論文数に占めるTop10%補正論文数の割合(Q値))により、分野比較を含め、多角的に主要国の論文分析を実施。

■ サイエンスマップ【隔年】

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を抽出し、可視化した「サイエンスマップ」を作成し、世界の研究動向とそこでの日本の活動状況の分析を実施。

■ NISTEP定点調査【毎年】

産学官の一線級の研究者や有識者への継続的な意識調査を通じて、我が国の科学技術やイノベーションの状況変化を把握。2016年度から第5期科学技術基本計画期間中の5年間を対象とした第3期NISTEP定点調査を新たに開始。

■ 博士人材データベース(JGRAD)【通年】

■ 博士人材追跡調査(JD-Pro)【3年間隔】

■ ポストドクター等の雇用・進路に関する調査<政府統計>【3年間隔】

■ 全国イノベーション調査<政府統計>【隔年】

■ 民間企業の研究開発活動に関する調査<政府統計>【毎年】

■ 科学技術予測調査【5年間隔】

成果報告書の累積数推移

(2020年6月30日時点)

■ NISTEP REPORT

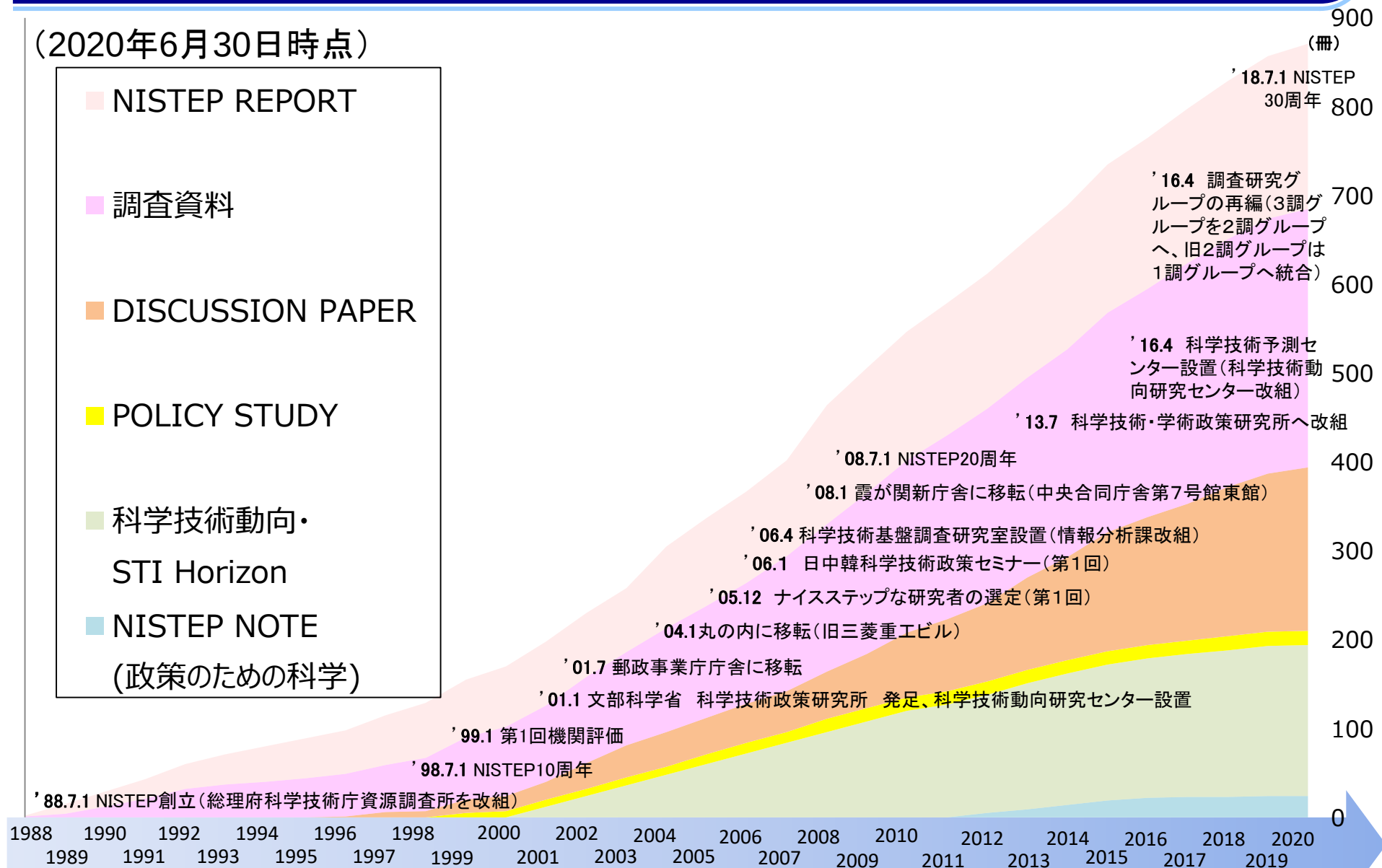
■ 調査資料

■ DISCUSSION PAPER

■ POLICY STUDY

■ 科学技術動向・
STI Horizon

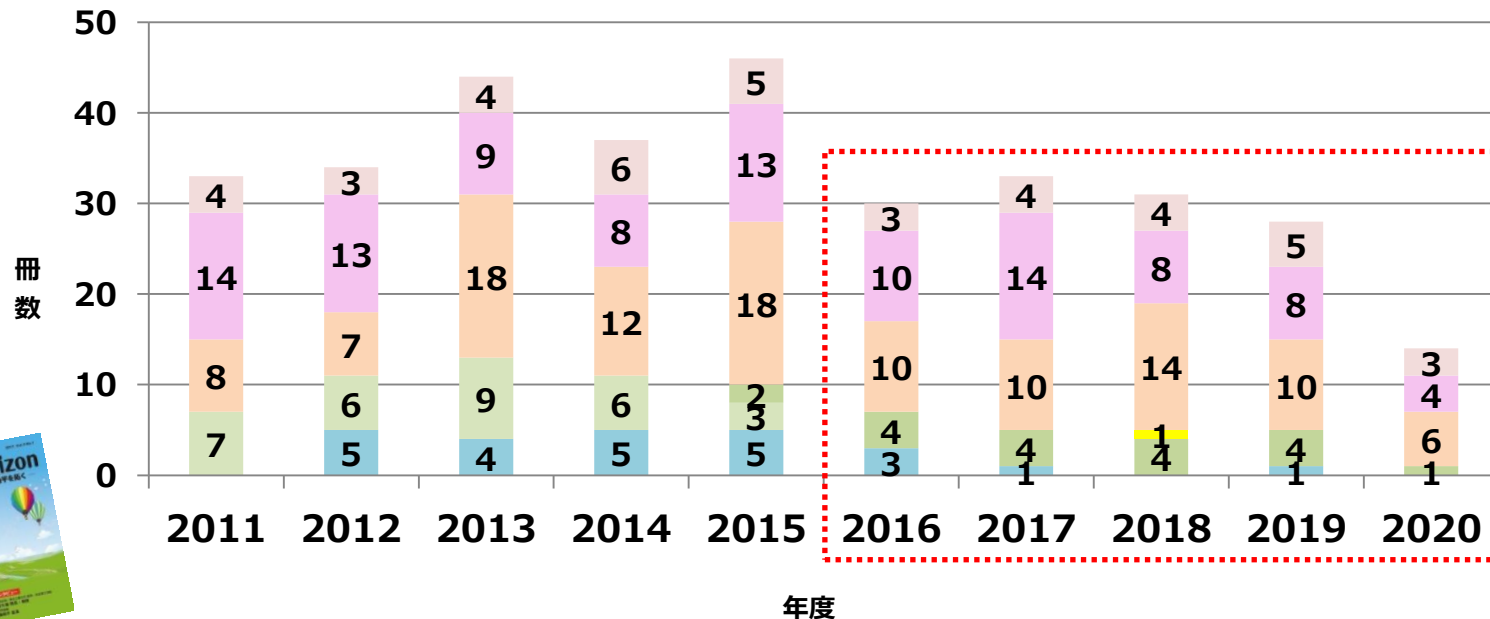
■ NISTEP NOTE
(政策のための科学)



現行中期計画期間中の成果の発信①

1. 成果報告書等発行数の推移

(2020年6月30日時点)



期間中
136件

- NISTEP REPORT : 研究、調査分析等の成果及び、これらを踏まえた政策試案であって、研究所の名称で広く社会に問いかけるために対外に発表するもの。
- 調査資料 : 研究、調査分析等の成果として収集された資料であって、対外的に発表するもの。
- DISCUSSION PAPER : 研究、調査分析等の成果で著者の見解として出すものであって、主として所外専門家等の意見を聞くことを狙いとして対外的に発表するもの。
- POLICY STUDY : 執筆者の見解として発表する研究、調査分析等の成果であって、政策試案をまとめたものと、政策分析・形成のための新しい概念、方法論等について理論的、体系的にまとめたもの。
- STI Horizon : 科学技術に関する新しい話題を中心に、科学技術・イノベーション政策に資する情報を届ける季刊誌。
- 科学技術動向 : 科学技術イノベーション政策の注目事項や課題達成型の先進的な科学技術の動向等を取りまとめて、国内外に広く情報発信しているもの。151号（2015. 07-08）以降は、STI Horizonとして生まれ変わった。
- NISTEP NOTE : 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」に関する調査研究やデータ・情報基盤の構築等の過程で得られた結果やデータ等を取りまとめたものであって、速報として関係者に広く情報提供するために対外的に発表するもの。

現行中期計画期間中の成果の発信②

(2020年5月31日時点)

2. 報道発表 (2016年度～)

報道発表(報告書) **27件** (うち10件プレスレク実施)

科学技術指標、科研ベンチマーキング、
NISTEP定点調査、科学技術予測調査、
民研調査、全国イノベ調査、博士人材追跡調査等

新聞記事等 **約280件**

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞等、雑誌やNHKニュース等でも取り上げられた。その他、ビール飲料CMIに科学技術予測調査結果の利用、ニュース番組での研究者へのインタビューなどがあった。

3. 講演会、シンポジウム等の開催数 (2016年度～)

86件

政策研究レビューセミナー、NISTEPセミナー、ナイスステップな研究者講演会、NISTEP／研究・イノベーション学会共催講演会、RIETI-NISTEP共同ワークショップ、予測国際会議、SciREXオープンフォーラム等

4. 審議会での成果活用回数 (2016年度～)

52件

総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会、科学技術・学術審議会総合政策特別委員会、科学技術・学術審議会学術分科会、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会、中央教育審議会大学分科会大学院部会、国立大学法人研究担当理事・副学長協議会等

5. 科学技術白書等における活用例 (2016年度～)

科学技術指標、科学技術予測調査、サイエンスマップ、科学研究のベンチマーキング、民間企業の研究活動に関する調査報告、NISTEP定点調査、全国イノベーション調査、論文実態調査、STI Horizon等

※令和2年度科学技術白書において、第11回科学技術予測調査が特集された。

6. ホームページの閲覧数 (2016年度～)

1,542,595件

平均 965.5件/日

7. 学術成果発表件数 (2016年度～)

282件 : 学会発表件数

60件 : 学術論文・書籍等の発表件数

研究・イノベーション学会等

8. 外部資金獲得実数 (2016年度～)

20件 (うち研究代表者 9件)

- ・科学研究費助成事業(基盤研究[A,B,C]、若手研究[A,B]、挑戦的萌芽研究、特別研究推進費)
- ・厚生労働科学研究費助成金
- ・その他

(2020年5月31日時点)

国内 (連携覚書)

■ 政策研究大学院大学 (GRIPS) ■ 科学技術振興機構 (JST) ■ 大阪大学キャリアセンター

その他 (ワークショップ開催等)

■ (独)経済産業研究所 (RIETI) とのワークショップ開催 ■ 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO/TSC) や JST/CRDS 等とのワークショップ開催 ■ 一橋大学 (イノベーション研究センター、経済研究所)
■ 東京大学大学院情報理工学系研究科 ■ 早稲田大学総合研究機構

海外 (連携覚書)

■ 米国 全米科学財団 (NSF)、マサチューセッツ工科大学 (MIT)、ジョージ・メイソン大学 政治学院
ジョージア工科大学 公共政策学院、ノースカロライナ大学
■ 英国 マンチェスター大学 マンチェスターイノベーション研究所 (MIOIR)
■ フランス 高等教育・研究・イノベーション省 (MESRI) イノベーション総局
■ ドイツ フラウンホーファー協会 システム・イノベーション研究所 (ISI)
■ フィンランド ビジネス・フィンランド (BF) (旧: フィンランド技術庁)
■ ロシア 国立高等経済学院 (HSE)
■ 中国 中国科学院科技戦略諮問研究院 (CASISD)、中国科技発展戦略研究院 (CASTED)
■ 韓国 韓国科学技術企画評価院 (KISTEP)、科学技術政策研究院 (STEPI)
■ トルコ トルコ科学技術・研究委員会 (TUBITAC)
■ エジプト 科学研究技術アカデミー (ASRT)

その他 (会合出席等)

■ OECD/NESTI (科学技術指標各国専門家作業部会)、Global Science Forum (GSF)、Government Foresight Community (GFC)
■ APEC フォーサイトセンター ■ G7 オープンサイエンスWG ■ Research Data Alliance: RDA (研究データ連盟)

NISTEP創立30周年について

創立30周年記念シンポジウム「科学技術イノベーション政策の形成とともに進化する政策研究を目指して」の開催(2018年11月1日)

創立30周年を記念して、文科省大講堂にてシンポジウムを実施。永岡 桂子 文部科学副大臣より開会の挨拶。
(基調講演)「今日の科学技術イノベーション政策の主要課題～エビデンスベースの政策形成に向けて～」
(セッション1)「研究開発活動のグローバル化とイノベーション・エコシステムの進化～データ駆動型の政策形成と政策研究～」
(セッション2)「科学技術イノベーションの将来と予測～戦略策定への貢献のために～」



永岡副大臣(中央)及び 国外の関係機関からの出席者



パネル討議

30周年記念誌「科学技術イノベーション政策の形成と共に進化する政策研究を目指して」の発行(2018年11月)

記念誌(科学技術イノベーション政策の形成と共に進化する政策研究を目指して)で、大臣からのメッセージ、国内外の有識者、歴代所長等からの寄稿や各研究グループの研究の方向性等について取りまとめた。

(寄稿)

文部科学大臣(当時) 林 芳正、 前 総合科学技術・イノベーション会議議員 原山 優子、
経済協力開発機構 科学技術イノベーション局長 Andrew WYCKOFF、 ジョージア工科大学公共政策学院長・教授 Kaye Husbands FEALING
海外諸機関からの祝辞

(中国科学院科技战略咨询研究院(CASISD) 院長 PAN Jiaofeng、中国科学技術発展戦略研究院(CASTED)院長 HU Zhijian、
韓国科学技術企画評価院(KISTEP) 院長 Sang-seon KIM、韓国科学技術政策研究院(STEPI) 院長 Hwang-Hee CHO)

(特別寄稿)

東京工業大学 教授・元素戦略研究センター長 細野 秀雄、 立命館大学 教授・古気候学研究センター長 中川 毅

(NISTEPの30年と今後)

第1部 30周年ハイライト

第2部 NISTEP30年間の研究成果への評価と将来への期待

第3部 調査研究の現状・課題と今後の方向性

記者との意見交換会の実施(2018年7月)

30周年を記念して、科政研のこれまでの歩みや各研究グループの研究成果について、報道各社との意見交換会を実施。



30周年記念誌の寄稿(2018年11月)より抜粋

・経済協力開発機構 科学技術イノベーション局(OECD/DSTI) Andrew Wyckoff局長

NISTEPは指標とエビデンスを支え推進する役割を果たしてきましたが、単にOECD基準を確固たるものとし、それを拡張する役割にとどまらず、政策に対して更なる情報を与える新たな情報源や手法をOECDとその加盟国が受け入れ理解することを促す役割をも担ってきました。エビデンスに基づいた政策立案を支援するために科学及びイノベーション担当省の内部か非常に近くに類似の分析機関を設けている幾つかの国にとって、NISTEPは組織的なモデルを提示しています。日本の政策立案プロセスに非常に近い場所にNISTEPがいることが、NISTEPのエビデンスに基づいた政策立案への長期的なコミットメントとOECDが支持する多国間協力の原則へのコミットメントを確保するに当たり決定的なものであります。

・ジョージア工科大学公共政策学院長・教授 NSF SciSIP プログラム創設期ディレクター Kaye Husbands Fealing

社会的なアウトカムを進展させる科学技術のもたらす成果に焦点を当てたエビデンスベースの政策が、NISTEPの研究やその他の活動の中核となるものです。学術界、産業界及び政府における実際的な反響を得た分析枠組みと分析ツールの開発におけるNISTEPのリーダーシップは、20年以上にわたって確立されています。

・中国科学技術院科技戦略諮問研究院(CASISD) Pan Jiaofeng 院長

これまでの30年間にNISTEPは、科学技術イノベーション政策分野における世界的に著名なシンクタンクとして着実に歩みを進め、世界の中でCASISDのもっとも重要なパートナーの一つとなりました。NISTEPは、科学技術イノベーション理論、技術予測、サイエンスマップ、科学技術指標といった研究分野で偉大な成功を収めました。それは日本の科学技術政策立案への重要な支援をもたらしただけでなく、国際的な科学技術イノベーション政策のコミュニティに対して先駆けて基準点を示すことにもなりました。

・韓国科学技術企画評価院(KISTEP) Sang-seon Kim院長

過去30年間、NISTEPは、技術予測、研究開発活動の分析、及びエビデンスに基づいた政策研究を通じて、科学技術分野の進展に対して揺るぎない献身を示してきました。NISTEPで実施された「政策のための科学」は、リスクと不確実性が存在し急速に変化する世界において、現時点での課題に効果的に対処する取り組みの一つです。社会の相互関係の包括的な理解に基づく政策形成は、適応性と弾力性を備えており、NISTEPの成果はこの礎になるだろうと思われます。

「文部科学省創生実行計画（平成31年3月29日文部科学大臣決定）」等を踏まえ、NISTEP内における業務改善方策の提案、実践、推進及び効果の検証を実施するため、業務改善グループを設置。職員の提案を基に、主に以下の取組を実施。

1. ペーパーレス化

タブレット端末の導入による、所内会議、幹部説明における資料のペーパーレス化、成果報告書の製本化の見直しを実施。

2. テレワーク環境の整備

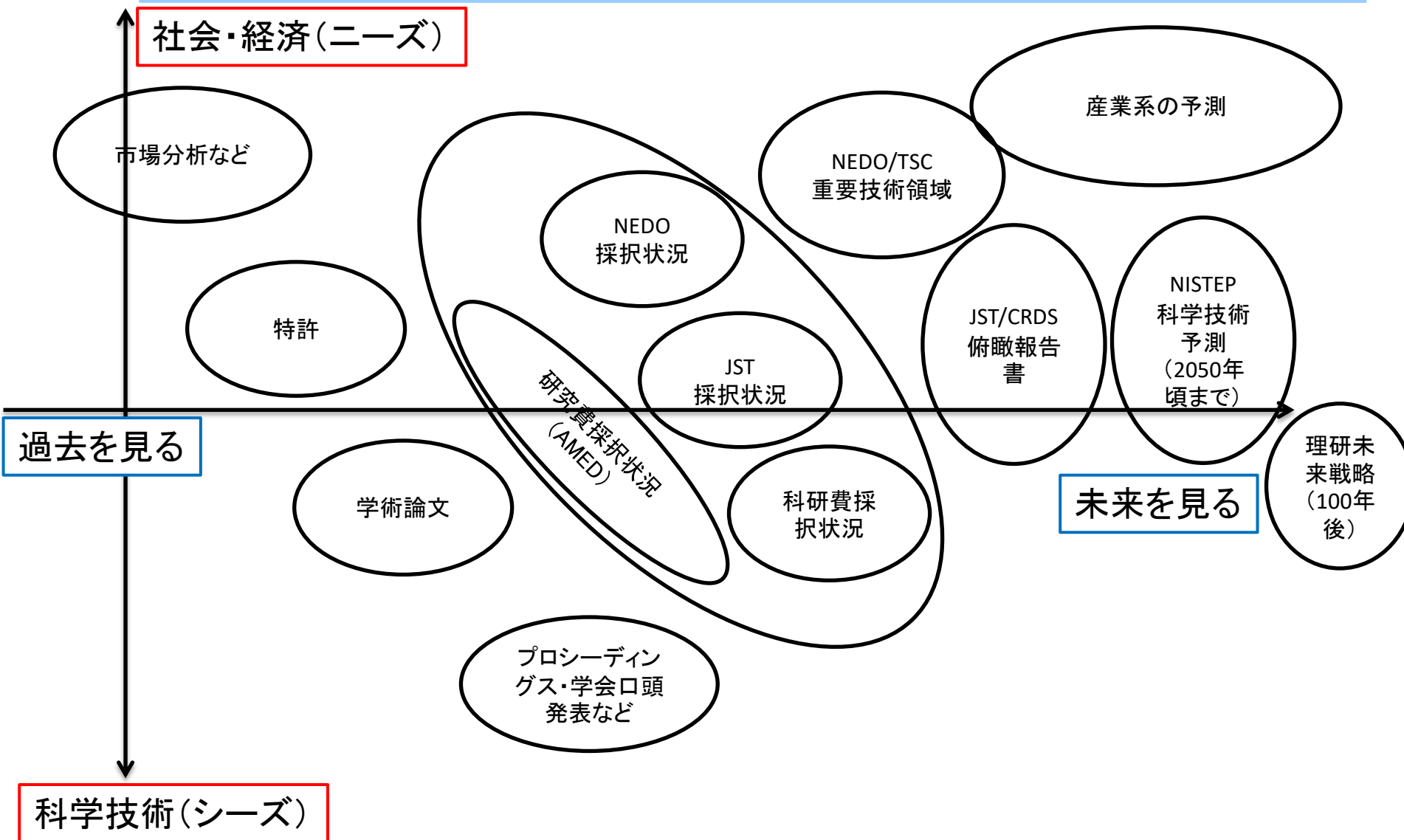
新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにテレワークを進めるため、テレワーク用端末の整備や自宅から所内端末にアクセスできる機器の導入を実施。

3. その他

- ・所長等の業務改善運営方針を周知
- ・職員の毎月の超過勤務状況を集計し、所内会議に報告

参考資料

【参考】科学技術に関する調査分析のマッピング(イメージ)〈未定稿〉



注) 相対的な位置関係のイメージを示したもので、関係機関の了解を得たものではない。

2019年度 調査研究活動の展開（国内）

講演会、シンポジウム等

第12回政策研究レビューセミナー：12月9日開催 参加者208名

NISTEPの各グループ等の調査研究活動を紹介し、NISTEPの取組について広く意見を聴取。

（講演プログラム一部抜粋）

- ・第5期科学技術基本計画と日本の科学技術—約3,000名の研究者・有識者はどう認識しているのか
- ・博士人材のキャリアパス把握に向けた取組の現状と科学技術に関する国民意識調査
- ・第11回科学技術予測調査 S&T Foresight 2019

NISTEPフォーサイトシンポジウム：11月6日開催 参加者262名

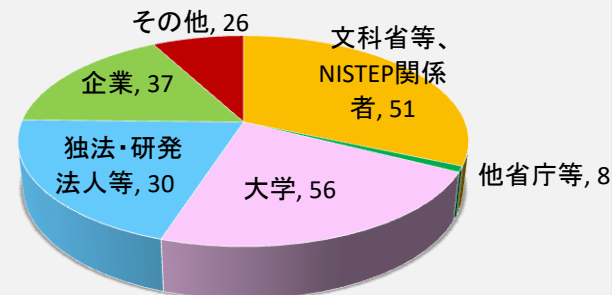
NISTEPが10月に公表した第11回科学技術予測調査の他、関係機関における未来を展望する取組を紹介するとともに、第6期基本計画の検討に資するため、関係機関との連携による取組の共有や有識者の討論を通じた我が国の未来像と科学技術イノベーションの役割について展望。

（プログラム内容）

- ・基調講演（上山 隆大 総合科学技術・イノベーション会議 議員、濱口 道成 科学技術振興機構 理事長）
- ・未来展望の取組事例紹介
- ・パネルディスカッション

主催講演会 ホライズン・スキャニングセミナー、ナイスステップな研究者の講演等 13件

＜レビューセミナー 参加者＞



ナイスステップな研究者の選定、大臣表敬、講演会

2019年 5月～7月 ナイスステップな研究者2018に選定された研究者11名による講演。参加者延べ約180名。

2019年 12月 2019年度の10名を選定、プレス発表。

2020年 1月 ナイスステップな研究者2019による大臣表敬。

その他、科学技術政策の企画立案に関する検討会等への参加、意見交換会の開催等

- ・NISTEPセミナー、記者との意見交換会、EBPMIに関する省内向け勉強会等を実施。

ナイスステップな研究者

1. 趣旨

- NISTEPの調査研究活動や専門家ネットワーク(約2000人)への調査をもとに、2005年から、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍され、日本に元気を与えてくれる方々を「ナイスステップな研究者」として選定。

これまでに15回、計174名を選定(うち現行中期計画期間中は4回、43人)。

(主な選定者) ※所属、役職は当時

山中 伸弥 教授(京都大学、平成18年選定)、山海 嘉之 教授(筑波大学、平成19年選定)

細野 秀雄 教授(東工大、平成20年選定)、天野 浩 教授(名城大学、平成21年選定)

森田 浩介 准主任研究員(理化学研究所、平成24年選定)

2. ナイスステップな研究者2019

- 研究業績に加えて、新興・融合領域における研究活動、産学連携・イノベーション、国際的な研究活動の展開等の観点から選考。

- 30代～40代の若手研究者を中心に10名(うち女性2名、平均年齢37歳)を選定。



ナイスステップな研究者2019

NISTEP定点調査

科学技術基本計画中、毎年1回、同一の回答者に、同一のアンケート調査を実施することにより、日本の科学技術やイノベーション創出の状況の変化を定点観測するもの。(日銀短観の科学技術版)

調査対象者

大学・公的研究機関グループ(約2,000名)

大学、大学共同利用機関法人の研究所・施設、国立研究開発法人における以下の者

- 所属長
- マネジメント実務担当者(経営企画部門長、リサーチ・アドミニストレーター(URA)等の課・室長)
- 現場の教員・研究者(部局長から推薦された一線級の方)
- 大規模研究開発プロジェクト(SIP, ImPACT, COI)の研究責任者

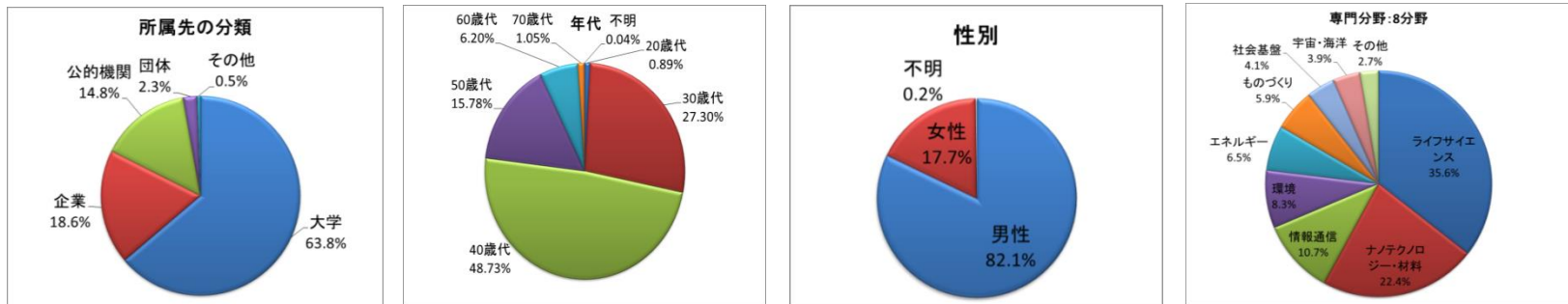
イノベーション俯瞰グループ(約700名)

- 産業界等の有識者
- 研究開発とイノベーションの橋渡しを行っている方(資金配分機関のプログラムディレクター等) など

※アンケート調査に加え、自由記述(2018年度調査:約9,400件)、深掘調査(毎年度、特定のテーマについて深掘)を実施。自由記述については、NISTEPのHPで公開。

科学技術専門家ネットワーク

科学技術専門家ネットワークは、2001年から運営を開始。行政ニーズに対応したタイムリーな調査・分析や科学技術予測等のため、様々な分野からなる約2,000名の専門家ネットワークを運用。
専門家の所属先等



2019年度の活用例

科学技術の中長期展望に関する専門家の意見収集

科学技術予測調査デルファイ調査において、科学技術トピックの重要度や実現見通し等に関するアンケートを同一人物に2回繰り返し実施(平成31年2月～令和元年6月)。

2020年度の戦略目標等の候補案収集への協力

科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)と日本医療研究開発機構(AMED)の革新的先端研究開発支援事業の2020年度戦略目標及び研究開発目標の検討に資するよう、最新の研究開発動向に基づく目標候補案を本ネットワークを活用して収集(実務はJSTが担当)。

ナイスステップな研究者2019の候補者の調査

NISTEPで毎年選定しているナイスステップな研究者の候補者を本ネットワークを活用し調査(令和元年8月)。

客員研究官等

NISTEPでは、所外の研究者に非常勤の形で、NISTEPの調査研究に関し、指導又は参画いただくために、客員研究官等として委嘱している。2019年度は、72名(うち、国際客員研究官3名)を委嘱。20

2019年度 調査研究活動の展開 (国際)

第14回日中韓科学技術政策セミナー(2019年11月、韓国ソンド)

日本・中国・韓国を代表する科学技術政策研究機関が一堂に会し、研究交流を深めることを目的として、各機関の活動及び成果報告による情報交換及び意見交換を2006年に開始し毎年実施。

(参加機関)

日本 文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)

中国 中国科学院科技战略咨询研究院(CASISD)

中国 科技發展戦略研究院(CASTED)

韓国 韓国科学技術企画評価院(KISTEP)

韓国 韓国科学技術政策研究院(STEPI)



第12回日中科学技術政策セミナー(2019年9月、高知)

2004年から12回に渡り開催している本会議には、第1回から全ての会合にNISTEP所長が出席。

2019年のセミナーでは、磯谷所長より科学技術に関する国民意識調査や第11回科学技術予測調査等について紹介。

OECD/NESTI(科学技術指標各国専門家作業部会)(2019年12月、パリ)

我が国代表員として第1研究グループ伊地知客員総括主任研究官等が出席し、全国イノベーション調査2018年調査の結果・経験に基づき、改訂された『オスロ・マニュアル2018』の実施及び国際比較に際しての留意事項等について報告。

G7オープンサイエンス・ワーキンググループ(2019年6月、パリ)

内閣府の依頼により、科学技術予測センターの林上席研究官がG7 科学技術大臣会合のオープンサイエンスワーキング・グループのワークショップに参加し日本のオープンサイエンス政策の現状を報告。

その他

ロシア国立高等経済学院(HSE)主催のフォーサイト・セミナーでの招聘講演(2019年4月、モスクワ)

韓国科学技術企画評価院(KISTEP)主催の第5回アジア・イノベーション・フォーラムでの招聘講演

(2019年9月、フィリピン・ケソン)

ビジネス・フィンランド等とのデルファイ調査の合同ワークショップを開催(2020年3月、ヘルシンキ) 等

NISTEP REPORT	研究、調査分析等の成果及びこれらを踏まえた政策試案であって、研究所の名称で広く社会に問いかけるために対外的に発表するもの。 【総計： 1 8 6 冊 】
調査資料	研究、調査分析等の成果として収集された資料であって、対外的に発表するもの。 【総計： 2 9 1 冊 】
NISTEP NOTE	科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」に関する調査研究やデータ・情報基盤の構築等の過程で得られた結果やデータ等を取りまとめたものであって、速報として関係者に広く情報提供するために対外的に発表するもの。 【総計： 2 4 冊 】
DISCUSSION PAPER	研究、調査分析等の成果で著者の見解として出すものであって、主として所外専門家等の意見を聞くことを狙いとして対外的に発表するもの。 【総計： 1 8 4 冊 】
POLICY STUDY	執筆者の見解として発表する研究、調査分析等の成果であって、政策試案をまとめたものと、政策分析・形成のための新しい概念、方法論等について理論的、体系的にまとめたもの。 【総計： 1 6 冊 】
STI Horizon	科学技術に関する新しい話題を中心に、科学技術・イノベーション政策に資する情報を届ける季刊誌。 【総計： 1 9 冊 】

全ての報告書を web上で公開！

科学技術動向（STI HORIZONに改編）

科学技術動向は、科学技術イノベーション政策の注目事項や課題達成型の先進的な科学技術の動向等を取りまとめて、国内外に広く情報発信しているもの。
【総計： **1 5 1 冊**】

2019年度 審議会等における成果の活用事例

文部科学省 科学技術・学術審議会や総合科学技術・イノベーション会議有識者懇談会等、**19**の会議において、NISTEPにおける調査研究について説明を行い、各種施策立案等に貢献。

2019.05.09	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
		定点調査2018における指数・変化一覧
2019.05.16	科学技術・学術審議会 人材委員会（第85回）	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
2019.05.22	科学技術・学術審議会学術分科会第10期研究費部会（第2回）	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
		定点調査2018における指数・変化一覧
2019.05.23	科学技術・学術審議会総合政策特別委員会（第26回）	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
		定点調査2018における指数・変化一覧
		科学技術予測調査
2019.05.29	科学技術・学術審議会学術分科会	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
2019.06.05	中央教育審議会 大学分科会 大学院部会（第3回）	科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
		博士人材データベース(JGRAD)の取組について
2019.06.14	科学技術・学術審議会 情報委員会（第1回）	第11回科学技術予測調査
2019.06.24	科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 第10期環境エネルギー科学技術委員会（第3回）	第11回科学技術予測調査
2019.07.16	科学技術・学術審議会 基礎研究振興部会（第3回）	第11回科学技術予測調査
		科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2018）
		サイエンスマップ2016
		定点調査の自由記述検索結果

2019年度 審議会等における成果の活用事例(続)

2019.07.31	科学技術・学術審議会 基礎研究振興部会(第4回)	サイエンスマップ2016
		第11回科学技術予測調査
		科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2018)
		定点調査の自由記述検索結果
2019.08.07	科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 ライフサイエンス委員会	第11回科学技術予測調査ST Foresight 2019(速報版)
2019.08.08	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会	科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2018)
		第11回科学技術予測調査ST Foresight 2019(速報版)
2019.08.22	科学技術・学術審議会 総合政策特別委員会(第29回)	科学技術指標2019、 科学研究のベンチマーキング2019
		民間企業の研究活動に関する調査報告2018
2019.09.05	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会	科学技術指標2019、 科学研究のベンチマーキング2019
2019.10.01	科学技術・学術審議会 人材委員会(第87回)	科学技術指標2019、 科学研究のベンチマーキング2019
		民間企業の研究活動に関する調査報告2018
2019.10.03	科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 ライフサイエンス委員会 基礎・横断研究戦略作業部会(第1回)	科学技術指標2019、 科学研究のベンチマーキング2019
2019.10.08	科学技術・学術審議会 学術分科会(第75回)	科学技術指標2019、 科学研究のベンチマーキング2019
2019.12.18	科学技術・学術審議会 総合政策特別委員会(第32回)	第11回科学技術予測調査の概要及び研究開発領域抽出の試み
2020.02.20	科学技術・学術審議会 産業連携・地域支援部会(第10期)地域科学技術イノベーション 推進委員会(第1回)	地域イノベーションシステムに関する意識調査報告
		地域科学技術指標2018
		地域イノベーションシステムに関する意識調査(2016)の要因分析
		地方ブロック圏域における地域イノベーションの成果と課題

○白書へのデータ・エビデンス提供

基盤的調査研究(科学技術指標や科学研究のベンチマーキング等)の活用(令和元年版科学技術白書)

2019年度 研究成果報告書等一覧

1	科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2018)報告書	NISTEP REPORT No.179(2019.04)
2	科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査2018)データ集	NISTEP REPORT No.180(2019.04)
3	民間企業の研究活動に関する調査報告2018	NISTEP REPORT No.181(2019.05)
4	全国イノベーション調査 2018年調査統計報告	NISTEP REPORT No.182(2019.08)
5	第11回科学技術予測調査 S&T Foresight 2019 総合報告書	NISTEP REPORT No.183(2019.11)
6	博士人材データベース(JGRAD)を用いたキャリアパス等に関する意識調査 —JGRADアンケート2018結果報告—	調査資料-281(2019.05)
7	科学技術に関する国民意識調査—Society 5.0—	調査資料-282(2019.06)
8	科学技術指標2019	調査資料-283(2019.08)
9	科学研究のベンチマーキング2019—論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況—	調査資料-284(2019.08)
10	論文の引用・共著関係からみる我が国の研究活動の国際展開に関する分析	調査資料-285(2019.11)
11	研究現場の閉塞感を打破するには:エビデンスベースの政策立案の前提条件の共有に向けて — NISTEP 定点調査ワークショップ2019 より —	調査資料-286(2019.12)
12	数学研究に関する国際比較—「忘れられた科学」から—	調査資料-287(2020.02)
13	研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング2019 —大学の個性を活かし、国全体としての水準を向上させるために—	調査資料-288(2020.03)
14	研究ポートフォリオ・マネジメントに関する分析フレームワーク(ARPM 分析)の提案と試行的分析	DISCUSSION PAPER No.169(2019.05)
15	日本とドイツの中小企業における国際化とイノベーション:統合的な国際化戦略の重要性	DISCUSSION PAPER No.170(2019.04)
16	特許データと意匠データのリンケージ: 創作者レベルで見る企業における工業デザイン活動に関する分析	DISCUSSION PAPER No.171(2019.03)

2019年度 研究成果報告書等一覧(続)

17	第11回科学技術予測調査[3-1]未来につなぐクローズアップ科学技術領域 —AI関連技術とエキスパートジャッチの組み合わせによる抽出の試み—	DISCUSSION PAPER No.172(2019.07)
18	理系分野の博士人材の多様化の計測 —平成元年度～30年度学校基本調査データによる女性博士課程入学者数等の検討—	DISCUSSION PAPER No.173(2019.10)
19	STI for SDGs に関する政策レビュー及び研究助成との関連づけへの人工知能(AI) 関連技術の試行的活用	DISCUSSION PAPER No.174(2019.11)
20	特許文書情報を用いた発明内容の抽出と出願人タイプ別特性比較	DISCUSSION PAPER No.175(2019.12)
21	博士課程在籍者のキャリアパス意識調査:移転可能スキルへの関心と博士留学生の意識	DISCUSSION PAPER No.176(2019.12)
22	大学と民間企業による協働研究開発システムの実態—工学系の事例研究—	DISCUSSION PAPER No.177(2019.12)
23	研究プロジェクトの中止・継続がイノベーションの成果に及ぼす影響とその決定要因: 全国イノベーション調査による定量分析	DISCUSSION PAPER No.178(2020.02)
24	大学における研究推進支援人材が外部研究資金獲得に与える影響	DISCUSSION PAPER No.179(2020.03)
25	科学技術イノベーション政策の基礎となるデータ・情報基盤構築の進捗 ～政府の研究開発投資の分析に向けて～	NISTEP NOTE(政策のための科学) No.024(2019.04)
26	2018年度活動報告(年報)	年報(Annual Report) 2018(2019.12)
27	科学技術・学術政策研究所、奈良女子大学共催ワークショップ(JGRAD地域WS) 「博士のキャリアデザイン」	講演録(lecture text) No.309(2019.05)
28	NISTEP企業名辞書とNISTEP意匠・商標DBとの接続テーブル	データベースの公開(2019.11)
29	科学技術白書検索(2019年初公開版)	データベースの公開(2019.11)
30	デルファイ調査検索(第11調査回(2019年)版)	データベースの公開(2019.12)
31	NISTEP重要施策データベース(2019年度改訂版)	データベースの公開(2020.02)
32	NISTEP基本政策系列データベース(2019年度改訂版)	データベースの公開(2020.02)
33	NISTEP企業名辞書(Ver.2020_1)、IIPパテントDBとの接続テーブル他	データベースの公開(2020.02)

(参考) 2020年度 研究成果報告書等一覧

(2020年6月30日時点)

1	科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2019)報告書	NISTEP REPORT No.184(2020.04)
2	科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査2019)データ集	NISTEP REPORT No.185(2020.04)
3	研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査2018	調査資料-289 (2020.05)
4	長期のインプット・アウトプットマクロデータを用いた日本の大学の論文生産の分析	DISCUSSION PAPER No.180(20120.04)
5	COVID-19 / SARS-CoV-2 に関する研究の概況 — 2020 年4 月時点の論文出版等の国際的なデータからの考察	DISCUSSION PAPER No.181(2020.05)
6	博士人材データベース(JGRAD)の登録情報を用いた博士課程の経済的支援の 効果に関する試行的分析	DISCUSSION PAPER No.182(2020.05)
7	第11回科学技術予測調査 2050年の未来につなぐクローズアップ科学技術領域 —AI関連技術とエキスパートジャッジの組み合わせによる抽出・分析—	調査資料-290 (2020.06)
8	第11回科学技術予測調査 科学技術の発展による2040年の社会 —基本シナリオの検討—	調査資料-291 (2020.06)
9	第11回科学技術予測調査 デルファイ調査	調査資料-292 (2020.06)
10	第11回科学技術予測調査 科学技術や社会のトレンド把握	DISCUSSION PAPER No.183(2020.06)
11	民間企業の研究活動に関する調査報告2019	NISTEP REPORT No.186(2020.06)
12	SDGsの達成に資すると考えられる将来の科学技術の試行的探索	DISCUSSION PAPER No.184(2020.06)
13	COVID-19 / SARS-CoV-2関連のプレプリントを用いた研究動向の試行的分析	DISCUSSION PAPER No.186(2020.06)

2019年度 シンポジウム・講演会等

2019.4.25	NISTEPセミナー「民間企業の研究活動に関する調査報告2018」
2019.5.24	講演会「近未来への招待状 ～ナイスステップな研究者2018からのメッセージ～」(第1回)
2019.5.29	講演会(フォーサイト・セミナー)「研究データの利活用を促進するFAIR原則の背景とGoFAIRの実践(仮)」
2019.6.11	データ可視化ツール(PowerBI及びエクセル3Dマップ)についての省内説明会
2019.6.26	講演会「近未来への招待状 ～ナイスステップな研究者2018からのメッセージ～」(第2回)
2019.7.17	NISTEP／研究・イノベーション学会共催講演会「科学技術基本計画の変遷と今後の課題」
2019.7.18	STI Horizon誌スキルアップセミナー
2019.7.19	NISTEPセミナー「全国イノベーション調査 2018年調査統計報告」
2019.7.26	NISTEP講演会「科学立国の危機 -定量指標の読み方・生かし方、そして弊害-」
2019.7.26	NISTEP定点調査ワークショップ2019 「研究現場の閉塞感を打破するには -エビデンスベースの政策立案前提条件共有に向けて-」
2019.7.31	講演会「近未来への招待状 ～ナイスステップな研究者2018からのメッセージ～」(第3回)
2019.9.17	RIETI-NISTEP共同ワークショップ 「日本産業のイノベーション創出能力の再構築」
2019.10.9	講演会(フォーサイト・セミナー)「RDA研究データ同盟が目指すオープンサイエンスパラダイムと研究データ基盤のゆくえ(仮)」
	NISTEPセミナー「第11回科学技術予測調査 ST Foresight 2019総合報告」
2019.10.30	NISTEP／研究・イノベーション学会共催勉強会 第2回「産学官連携のリスクマネジメントについて」 (科学技術イノベーション政策の社会的インパクト評価 研究懇談会)
2019.11.6	NISTEPフォーサイトシンポジウム～第6期科学技術基本計画に向けて日本の未来像を展望する～
2019.12.9	第12回政策研究レビューセミナー
2019.12.25	「Advanced Research Analysis in KAKEN Investigation」、通称「ARAKIシステム」の省内勉強会
2020.3.6	NISTEPセミナー 科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2019)